



7月5日(金)に優勝・準優勝をした越生消防団の団長と1・4・6分団の分団長が町長に表敬訪問のため役場に来庁しました。

全体の統括を行った団長やそれぞれの分団長は、練習から本番までのエピソードや優勝したときの思い、今後の消防団活動への意気込み等について語ってくれました。

越生消防団分団長が表敬訪問しました



越生消防団
島野純一団長

操法大会への想いを
教えてください

今後の意気込みについて
教えてください

関東大震災から100年が経過し、越生町にはいつきてもおかしくない大地震やハイキング遭難者の救助や捜索といった様々な課題を抱えております。そのため、今後、役場や消防署と連携しながら減災に挑み、越生町民の皆さまの生命・財産を守っていく所存です。また、きめ細かな対応のできる女性団員にも今後、期待しています。

他市町村での消防団の操法大会を廃止するなかで越生町の全分団が出席してくれたことについて心より感謝しています。また、優勝・準優勝を目指すことは1・2年のことではなく5・10年といった長い期間を要するため、大会選手だけでなく、団員のご家族や練習会場として使わせて頂いたカインズホーム様やユニサンプピア様のご理解が得られなければ優勝できなかったことだと思っています。関係者の皆さまには改めて感謝申し上げます。

今回は操法大会
について特集
します。

越生消防団がダブル優勝を果たしました



小型ポンプの部で優勝した第6分団



ポンプ車の部で優勝した第4分団



ポンプ車の部で準優勝した第1分団

令和6年6月16日(日)に第22回埼玉県消防協会西入間支部消防ポンプ操法大会が開催されました。この大会では、消防ポンプ自動車を使用した「ポンプ車操法」と小型動力ポンプを使用した「小型ポンプ操法」の2種目の競技が行われました。消防ポンプ操法とは、地域の皆さまを火災から守るための消防団活動に必要な規律を備えた上で、発火から消火までの安全性・迅速性・確実性を競い合うものです。越生消防団からは、全6分団が出場し、仕事や家庭、学業で忙しい中、数か月にわたる訓練に励んできた成果を見事に発揮しました。

その結果、越生町からは「ポンプ車操法の部」で、第4分団が優勝、第1分団が準優勝し、「小型ポンプ操法の部」では、第6分団が優勝しました。これは、今までにない越生町の快挙となり、越生消防団の消火能力の高さを表します。私たちの側には、いつでも消防団がいて、私たちの安全を守ってくれています。

ポンプ車操法の部優勝



第4分団
黒澤佑哉分団長

練習では
どんなことを大切に
励んでいましたか？

優勝した感想と
今後の意気込みについて
教えてください

分団長になり卒団を意識するなかで最後の操法大会になるかと思いましたが、悔いのないよう家族に協力してもらった中で、最高の結果となり感謝でいっぱいです。今後も有事に備えた訓練の一環としての操法大会だったと思って頂けるよう活動していきたいと思っています。

6年ぶりの操法大会でした。未経験の団員が半数でしたので、大会経験者と未経験者の気持ちの1つになるように気を付けていました。また、選手が満足した練習ができるように練習場所の確保を常に考えていました。

小型ポンプ操法の部優勝



第6分団
島田豪分団長

練習では
どんなことを大切に
励んでいましたか？

優勝した感想と
今後の意気込みについて
教えてください

越生町が総合優勝を果たせたことについて、とても嬉しく思います。今回の優勝は選手はもちろんですが、選手を支えた選手以外の団員、OB、また夜遅くまでの練習を許してくれた家族、みんなで勝ち取った優勝だと思っています。

このモチベーションを保って、次回の大会でも優勝ができるよう、日頃の訓練から消防技術の向上を意識していきたいと思っています。

実際の火事場をイメージして、迅速かつ丁寧な消火ができるように頭の中でイメージして練習に励んでいました。意気込みとしては6年ぶりの操法という事もあり、団のみんなが一丸となり復習を含め他の団よりいい操法が見せられるよう協力して準備してきました。

ポンプ車操法の部準優勝



第1分団
高野夏樹分団長

練習では
どんなことを大切に
励んでいましたか？

準優勝した感想と
今後の意気込みについて
教えてください

6年ぶりの操法大会だったので、選手も指導者も初めての経験でした。車両や道具の使い方を覚えただけで、自分達で考え、行動することが災害時に必要だと感じていたので、自主性を大切に練習していました。

操法大会にご理解ご協力をしてくださった地域住民の方々、消防団の先輩達への感謝の気持ちを大切に、災害時や普段の生活に活かせるように努めて参ります。ありがとうございました。

